

CIインサイトレポート － CKD 2022 －

【 目次見本 】

2022.11

株式会社社会情報サービス
Social Survey Research Information Co., Ltd

§ レポート全体概要

調査対象疾患	CKD（慢性腎臓病）＜DKD（糖尿病性腎臓病）含む＞	
調査ポイント・ topics	SGLT2阻害薬	<ul style="list-style-type: none"> ➤ フォシーガ適応取得後の全体/薬剤別処方状況について分析・検証 ➤ フォシーガ vs カナグル vs ジャディアンス 処方動向について検証・予測（CKD、DKD適応取得の違い） ⇒ 今後の全体/薬剤別処方動向をDM合併/非合併別に予測！ ACEi/ARBに並ぶ標準治療薬になり得るか？
	MRA	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ケレンディア、ミネブロの薬剤評価、ポテンシャルについて分析・検証 ⇒ 今後の全体/薬剤別処方動向をDM合併/非合併別に予測！ 治療薬としての確立、ポジショニングは？
	新規薬剤 （開発薬）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ GLP-1（注射/経口）、バルドキソロンメチル、セロンセルチブ・・・ 新規薬剤のポテンシャルについて分析・検証 ⇒ 今後の処方動向について予測！
	臨床開発の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 既存治療のアンメットニーズについて分析・検証 ➤ 開発成功に向けたモデルケースについて分析・検証 ⇒ CKD/DKD・・・ターゲット疾患別の今後の開発スタイルを予測！
	将来動向	<p>SGLT2阻害薬の参入によりCKD（/DKD）治療は新たなステージに</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>今後の薬剤（種類）別の処方動向を徹底予測！！</u> ⇒ CKD（/DKD）治療のパラダイムシフトは？ ⇒ CKD（/DKD）市場の方向性は？

■調査対象薬剤

*新規薬剤

既存薬	—	ACEi/ARB	
		SGLT2阻害薬	フォシーガ（ダパグリフロジン）* カナグル（カナグリフロジン）*
		MRA	スピロノラクトン、セララ ケレンディア（フィネロン）*
開発薬	適応拡大	SGLT2阻害薬	ジャディアンス（エンパグリフロジン）
		MRA	ミネプロ（イサキサレノン）
		GLP-1受容体作動薬	オゼンピック（セマグルチド）
	新 規	Antioxidant Inflammation Modulator	RTA402 バルドキシロンメチル
		ASK-1阻害薬	GS-4997 セロンセルチブ
		GLP-1/グルカゴン受容体作動薬	MEDI0382 コタデュチド
		ETA拮抗薬+SGLT2阻害剤	AZD4054（ジボテンタン）+ダパグリフロジン
		血行動態調節薬 Hemodynamic modulator	BI 685509

§ レポートPart別概要

調査種類	Part I データ分析編	Part II 定量調査編	Part III KOLヒアリング編
調査手法	(オープンソースを基にした) データ分析	インターネットによるWEB調査	デプスインタビュー
調査対象医師/ 対象医師数	—	CKD患者を診療している医師 計 208名 ＜内 SGLT2阻害薬 処方医 202名＞	CKD TOP KOL 3名 【関連学会 役員】
調査対象診療科 ＜施設種類＞	—	腎臓内科、糖尿病/代謝/内分泌内科、 一般内科 ＜HP/GP＞	腎臓内科 ＜HP＞
調査内容	<p>＜既存薬＞ プロフィール、作用機序・特性、 薬価、販売高推移、臨床試験、 関連論文</p> <p>＜開発薬＞ プロフィール、作用機序・特性、 臨床試験、関連文献</p> <p>＜その他＞ 注目企業動向、学会情報</p> <p>＜別添＞ 抄録集（関連論文）</p>	<p>＜診療・患者動向＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カルテ記載状況（CKD記載の有無） ● ステージ別/合併疾患併発状況 ● 治療薬処方状況 <p>＜SGLT2阻害薬＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤別処方状況 ● 適応取得状況/内容の処方への影響 （CKD/DKDでの適所取得の影響度） ● 薬剤別処方動向予測 <p>＜MRA＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CKD治療で期待する作用 ● 薬剤別処方動向予測 <p>＜GLP-1受容体作動薬/新規薬剤＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤（剤型）別今後の処方意向 <p>＜現状のアンメットニーズ/薬剤別処方動向＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 既存治療で満足度が低い内容 ● 薬剤別処方変化動向 <p style="text-align: right;">等</p> <p>※項目全般において 「2型糖尿病」合併/非合併別に分析</p>	<p>＜SGLT2阻害薬＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全体・薬剤別処方状況＊ （CKD/DKD適応取得後の変化動向） ● 薬剤別評価・印象 ● 全体・薬剤別処方動向予測＊ <p>＜MRA＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在の処方状況＊ ● 全体・薬剤別処方動向予測＊ <p>＜GLP-1受容体作動薬＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ポテンシャル分析/処方動向予測＊ <p>＜新規薬剤（開発薬）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤別評価/治療薬としてのポテンシャル <p>＜薬剤選択動向/臨床開発の方向性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後の薬剤選択動向予測＊ ● 今後の臨床開発の方向性・重点ポイント （CKD/DKD） <p style="text-align: right;">等</p> <p>＊国内全体の実態/将来動向についての 検証/予測を含む</p>
調査実施時期	2022年 9月 ～ 10月		
体裁／頁数	Part I・・・P P T（or E X C E L）、Part II & III・・・P P T / A 4 計約350ページ（報告書本編のみ、別添は含まない）		
レポート価格	レポート本編 ※オプション	フルセット＜3パート＞ ロウデータ ロウデータ + ターゲットマッチング	1 8 0 万円（税別） 6 0 万円（税別） 7 0 万円（税別）

＊Part別販売 可

< Part I データ分析編 目 次 >

調査概要	3	IV. 学会情報	37
I. 既存品	4	IV-1.日本腎臓学会	38
I-1. プロファイル	5	IV-2.日本腎臓学会東部	41
I-2. 作用機序・特性	9	IV-3.日本腎臓学会西部	43
I-3. 薬価	11	IV-4.日本透析医学会	44
I-4. 販売高推移	12	IV-5.日本腹膜透析医学会	46
I-5. 臨床試験（UMIN）	13	IV-6.日本腎臓病薬物療法学会	47
I-6. 臨床試験（JAPIC）	21	IV-7.日本糖尿病学会	48
II. 開発品	22	IV-8.日本くすりと糖尿病学会	49
II-1. プロファイル	23	V. 関連文献	50
II-2. 作用機序・特性	26	V-1. 既存品	51
II-3. 臨床試験（JAPIC）	28	V-2. 開発品	56
III. 関連企業動向	29	V-3.既存品+開発品	63

< Part II 定量調査 要約編 目次 >

調査概要	3
回答者プロフィール	4
§.Executive Summary	5
§.Summary	14
1) 慢性腎臓病診療状況	15
2) 慢性腎臓病の薬物療法実施状況	23
3) SGLT2阻害薬処方動向・治療薬評価	33
4) MRA処方動向・治療薬評価	53
5) GLP-1受容体作動薬処方動向・治療薬評価	68
6) 開発薬の認識状況・処方意向・期待内容	73
7) 既存治療のアンメットニーズ・今後の薬剤選択動向	78
8) 薬剤情報入手の際の重視チャネル	83

< Part II 定量調査 結果編 目次 >

調査概要	3		
回答者プロフィール	4		
§ 調査結果	5		
1) 慢性腎臓病診療状況	6	4) MRA処方動向・治療薬評価	56
1-1.診療患者数(人/月)	7	4-1.MRA処方状況	57
1-2.カルテ記載状況	8	4-2.薬剤別処方状況(MRA処方医)	59
1-3.保存期慢性腎臓病患者のステージ別患者状況	9	4-3.治療満足度が高い作用(MRA処方医)	63
1-4.2型糖尿病合併状況	10	4-4.ケレンディア臨床試験認識状況	66
1-5.合併疾患併発状況	11	4-5.薬剤別治験参加・認識状況	68
1-6.慢性腎臓病治療で重視する内容	13	4-6.薬剤別今後の処方意向	70
2) 慢性腎臓病の薬物療法実施状況	16	4-7.慢性腎臓病治療で期待する作用	72
2-1.薬物療法で重視する作用	17	5) GLP-1受容体作動薬処方動向・治療薬評価	80
2-2.薬剤選択時の判断ポイント	19	5-1.オゼンピック治験参加・認識状況	81
2-3.治療薬処方状況	21	5-2.薬剤(剤型)別今後の処方意向	82
3) SGLT2阻害薬処方動向・治療薬評価	30	5-3.慢性腎臓病治療で期待する作用	84
3-1.SGLT2阻害薬処方状況	31	6) 開発薬の認識状況・処方意向・期待内容	92
3-2.慢性腎臓病治療で期待する作用(SGLT2阻害薬処方医)	33	6-1.薬剤別治験参加・認識状況	93
3-3.薬剤別処方状況(SGLT2阻害薬処方医)	35	6-2.薬剤別処方意向・期待度	95
3-4.治療満足度が高い薬剤(SGLT2阻害薬処方医)	39	7) 既存治療のアンメットニーズ・今後の薬剤選択動向	102
3-5.非処方理由・承認/開発認識状況・今後の処方意向 (SGLT2阻害薬非処方医)	48	7-1.既存治療で満足度が低い内容	103
3-6.薬剤別臨床試験認識状況	49	7-2.処方数の増加が見込まれる薬剤	105
3-7.適応取得状況/内容による処方への影響	51	8) 薬剤情報入手の際の重視チャネル	108
3-8.薬剤別処方動向	52		
3-9.糖尿病治療における薬剤選択時の判断ポイント	55		

< Part Ⅲ KOLヒアリング編 目次 >

調査概要	3
§ Summary	5
§ 調査結果	16
1. SGLT2阻害薬処方動向	
1-1. 現在の処方状況	17
1-2. 薬剤別処方状況/評価・印象	20
1-3. 全体・薬剤別処方動向予測	22
2. MRA処方動向	
2-1. 現在の処方状況	26
2-2. 全体・薬剤別処方動向予測	28
3. GLP-1受容体作動薬ポテンシャル分析	30
4. 新規薬剤(開発薬)の評価	32
5. 薬剤選択動向予測	35
6. 新薬開発への要望/臨床開発の方向性	38